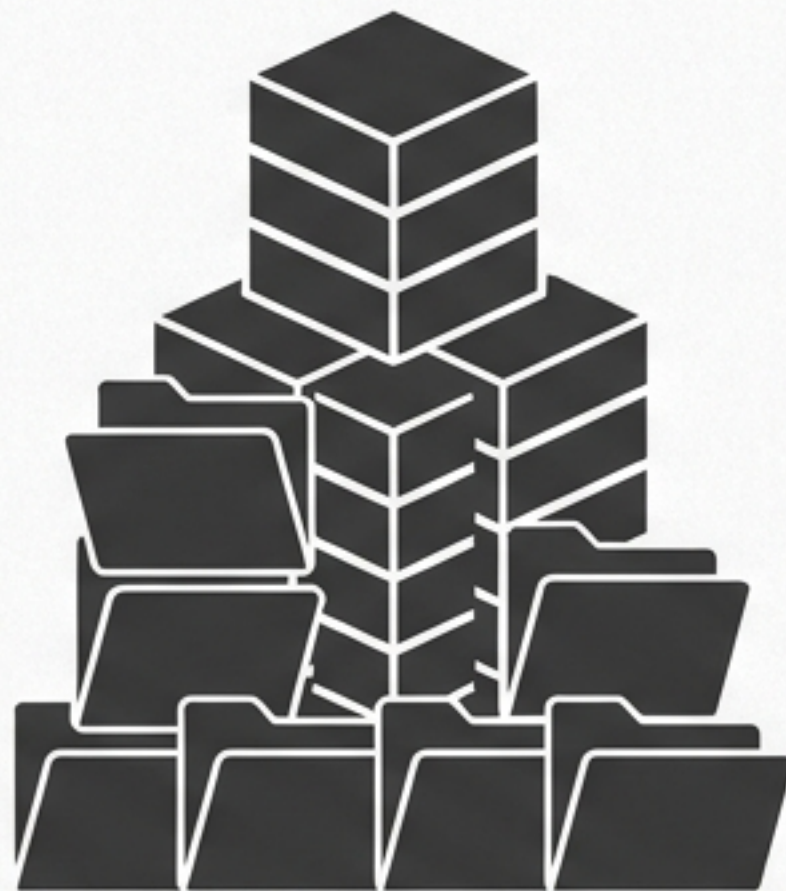


**学びとは、知識を増やすことではない。
昨日までの当たり前を破壊することだ。**

ソモサンセツパで「本当の学び」を得るためのマインドセット

行動を変えない「学び」の罠

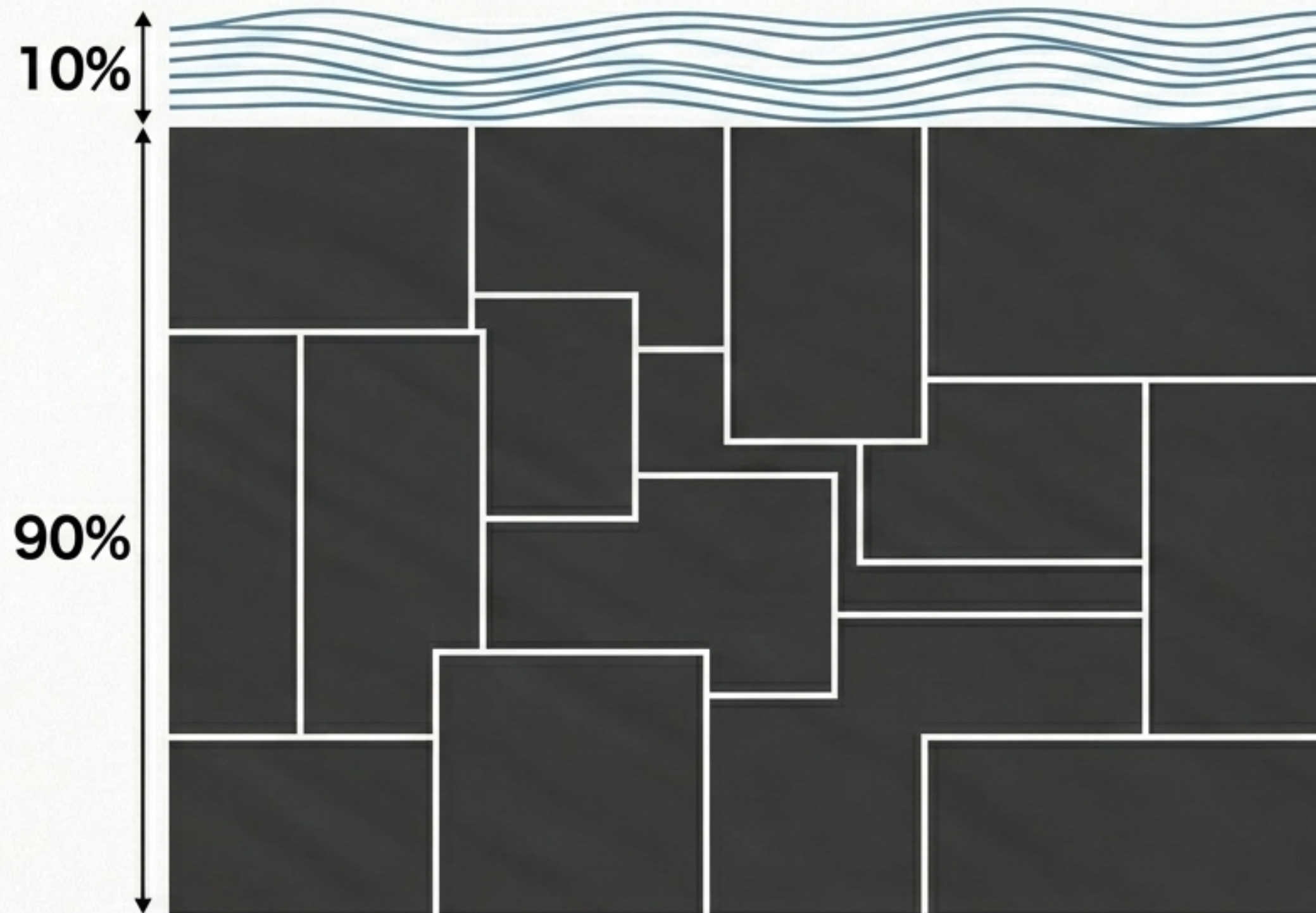


ソモサンセツパに参加し、知識は増え、メモを取り、「なるほど」「勉強になります」と口にする。それにもかかわらず、日々の行動は一切変わっていない人がある。



なぜか？自分の中の「当たり前」を変える気がないからだ。

行動は「意志」ではなく「当たり前」から生まれる



意志・気合・根性

人は、自分が正しいと思っていること(当たり前になっていること)を実行する。

行動を変えたければ、気合を出す前に、根底の基準を疑え。

当たり前・
自分が正しいと思っていること

「ミスしないようにしよう」という麻醉



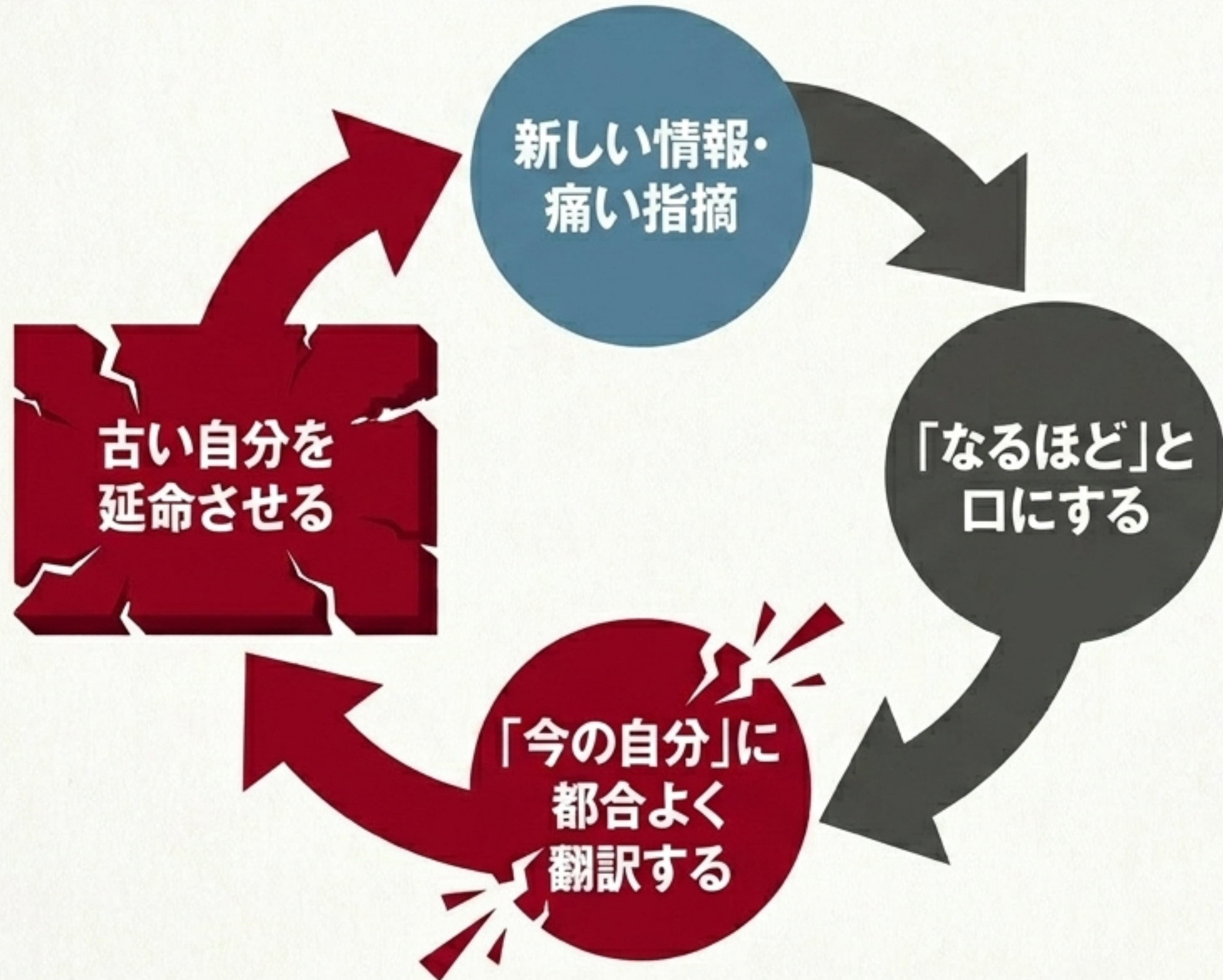
反省風の麻醉

「次から気をつけます」は、
痛みを誤魔化すだけの言葉。

「次から気をつけます」

必要なのは「なぜ自分は、その場面で
その選択を当たり前だと思っていたのか」
という根本へのメス。

「なるほど」の先へ向かう覚悟はあるか？

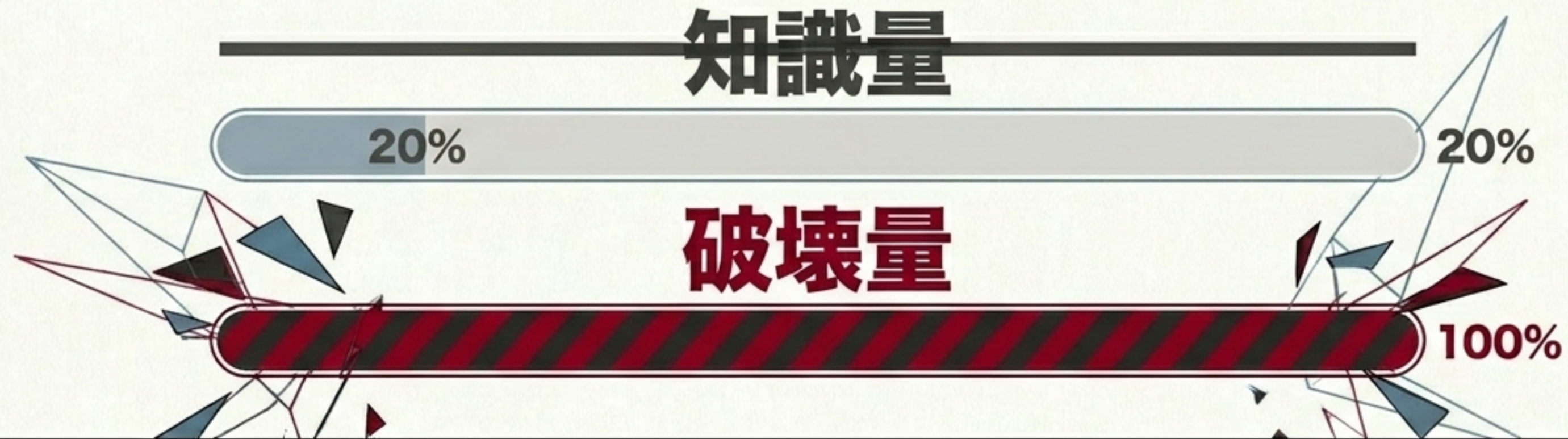


新しい情報を使って
古い自分を延命して
いる状態。
これは、何も学んでな
い人よりもタチが悪く
危険である。

ソモサンセツパの真実：自分の当たり前を壊されに行く場所

答えを聞く場でも、賢そうな言葉を仕入れる場でもない。自分では見つけられなかった逃げ道や、優しさだと勘違いしていた甘さを、徹底的に壊す場所である。

価値は「知識量」ではなく 「破壊量」で決まる



どれだけ良い話を聞いたか、ではない。どれだけ自分の当たり前が壊れたか。練習中の立ち位置、ミスへの見方、相手への声かけなど、現実の「行動」が変わっていなければ、何も学んでいない。

痛みのない学びは、 成長した「気分」に過ぎない

「ああ、自分はそこを
見ていなかった」

「ああ、自分は
できている
つもりだった」

「ああ、自分の当たり前は、
上達を止める側にあった」

真理を聞いた瞬間の「痛み」が出て初めて、本当の学習が始まる。

変わらない人 vs. 変わる人

	変わらない人	変わる人
目的	答えと解釈を探す	当たり前を壊す材料を探す
反応	「なるほど」 「自分なりに頑張る」	痛みを受け入れ、 基準のズレを疑う
結果	古い自分を延命・保護	構造をアップデートし、 別人に進化

この差は時間が経つほど残酷なまでに開いていく。

古い自分を殺すための、3つの問い

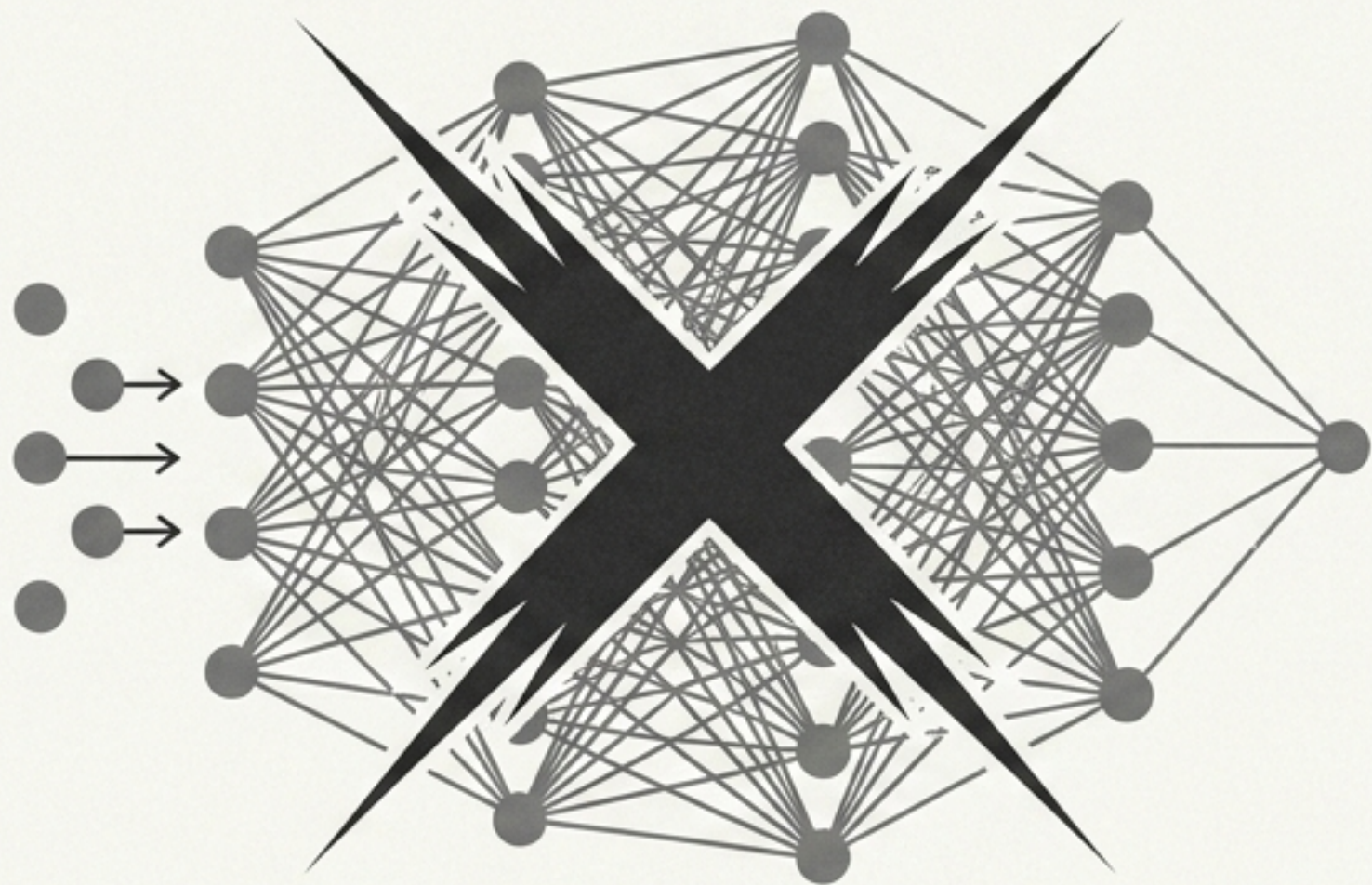
今の話を自分の当たり前にしたら、明日の行動は何が変わるのか？
徹底的に自分へ落とし込め。

「では、自分何を
やめるのか？」

「では、自分は
何を始めるのか？」

「では、明日の練習で
最初に変える
一手は何か？」

人間とAIに共通する「真の進化」の法則



単にパラメータ(知識)を増やすだけでは真の進化は起きない。
それはただの「情報消費」である。



古い重み付け(当たり前)を破壊し、
新しい行動モデル(出力)へと
繋げなければならない。

破壊の先にある進化



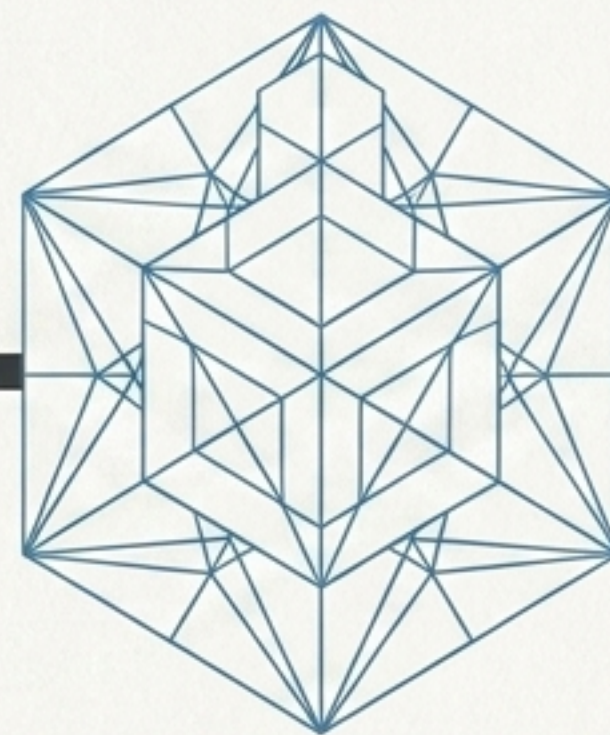
当たり前が変わる



行動が変わる



現実が変わる



やがて別人へと進化する

**学びとは、知識を増やすことではない。
昨日までの当たり前を、
今日の自分で破壊することである。**

理解したつもりのまま、自分を守るのはやめる。

ソモサンセツパ